

ハムシ上科 CHRYSOMELOIDEA

カミキリムシ科はコウチュウ類の中でも最もよく調べられているグループの一つで、記載されている種数も多い。分布や生態的特性も比較的解明されている。必然的に「レッドリスト」に掲載されている種も多く、本調査で確認された種のうち16種が、近隣都県何れかのリストに該当する種であった(表2)。特に富士北麓地域で注目すべき種として、地史的な関係からフジコバヤズカミキリ *Mesechthistatus fujisanus*、セダカコバヤズカミキリ *Parechthistatus giber*があるが、この2種については本調査で宮下泰典氏、白須英樹氏、渡辺通人氏が詳細に論じておられる。

ハムシ科もよく調べられているグループである。草原性のハコネチビツツハムシ *Cryptocephalus hakonensis* は少ない種で、基準産地である箱根仙石原では最近発見されていない(神奈川県レッドデータ生物調査団編 1995) という。本調査では St. 7 で採集された。同所からは、ドロノキハムシ *Chrysomela populi* も得られている。

ゾウムシ上科 CURCULINOIDEA

ハネカクシ類と並んで微小種、類似種が多いグループである。本調査でも種の確定には至らなかった個体も相当残されている。特に土壌から得られたゾウムシ科、衝突板トラップで多数得られたキクイムシ科の中には、不明なものが少なくない。したがって、このグループでは貴重種・注目種を抽出する以前の問題というのが実情であるが、ホソクチゾウムシ科の2種サキブトホソクチゾウムシ *Apion pachyrrhynchum*、セアカホソクチゾウムシ *Apion sulcirostre* は、多い種ではない(平野・野津 1997、林ほか 1984) らしい。

その他の各科

クシヒゲムシ科クチキクシヒゲムシ *Sandalus segnis*、タマムシ科アオタマムシ *Eurythyrea tenuistriata*、は少ない種と思われる。

共通調査地点の特徴

他の生物群と共通に設定した7調査地点で確認されたコウチュウ相から、それぞれの環境の特徴について考察してみたい。

St. 1 森林限界(高山帯)

急傾斜で基質が火山砂礫のため土壌の移動が

激しく、植生はカラマツ、ミヤマハンノキ、ミヤマナギなどの低木が点在する程度である。確認されたコウチュウは15科26種であった。個体数が多いのはミヤマヒラタハムシ *Gastrolina peltoidea* で、ミヤマハンノキを食草としている。本種は、標高3,000m付近の任意調査地点でも確認され、このほか、逐一記録はしていないものの各所のミヤマハンノキの葉上で数多く観察されている。富士山の森林限界付近の生態系を代表する生物種の一つにあげてよい。ハチジョウノミゾウムシ *Rhamphus hisamatsui* も個体数が多かったが、食草はダケカンバなどで、St. 1 に隣接する林地の要素と思われる。ツチイロビロウドムシ、シラフヒゲナガカミキリ *Monochamus nitens* も比較的珍しい種であるが、森林限界よりも亜高山の良好な針葉樹林を特徴づける種と考えられる。

本地点を特徴づけるコウチュウ類としては、他にミヤマハンミョウ、コスナゴミムシ *Gonocephalum coriaceum*、ツノグロモンシデムシ *Microphorus vespilloides*、があげられる。ミヤマハンミョウは「確認種」でも述べたように標高からみると比較的広い範囲に分布していると思われたが、荒原など乾燥した砂礫地に限られ、他の共通調査地点では確認されていない。コスナゴミムシ *Gonocephalum coriaceum* も乾燥気味の砂礫地などを好む種である。一方、ツノグロモンシデムシは標高の高い森林に棲む種と思われ、本地点のほか、亜高山の2地点(St. 2、St. 3)でも確認された。

St. 2 カラマツ林(亜高山帯)

高木にカラマツ、低木にハクサンシャクナゲが生育し、St. 1 と異なり土壌も安定し地衣類が密生している。確認されたコウチュウは16科49種であった。地表徘徊性の種ではヒメマイマイカブリ *Damaster blaptoides oxuroides*、フジクロナガオサムシ *Leptocarabus arboreus fujisanus*、アカガネオオゴミムシ *Trigonognatha cuprescens* などの大型オサムシ類が確認された。マイマイカブリがカタツムリ類(陸産貝類)を食べることはよく知られているが、その他の歩行虫類も昆虫の幼虫やミミズ類などを主に食べる捕食肉食性で、彼らの生息はこの場所の生産量がそれなりに高いことを示唆している。

調査前の予想を裏切ったのは、本地点や同じ亜高山帯森林の St. 3 において、シデムシ類の種数、個体数が意外と多いことであった。ニホンジカや

カモシカなどの大型哺乳類の糞や、ときには雪崩などに巻き込まれて死体となることで餌は豊富に供給されるのであろう。気温が低く腐敗の進みにくい高標高域では、シデムシ科のような腐食性昆虫による有機物の分解は平地以上に重要なものとも推察される。

本地点では、ヒメハナカミキリ *Pidonia* 属など訪花性のカミキリ類が多いのも特徴で、ハクサンシャクナゲや調査地点の林縁に生育するイタドリに個体数も多かった。富士山のカラマツ天然林を特徴づけるカミキリとしてカラマツカミキリ *Tetropium morishimaorum* が生息しているという（渡辺通人・宮下泰典氏のご教示による）が、本調査では確認されなかった。しかし、ヨコモンヒメハナカミキリ *Pidonia insuturata insuturata*、オヤマヒメハナカミキリ *Pidonia oyamae*、ニセフタオビチビハナカミキリ *Pidonia testacea testacea* などは、中部山岳地帯の高標高域（針葉樹林）に特徴的な種である（大林ほか編 1992）。

St. 3 シラビソ林（亜高山帯）

シラビソ、オオシラビソの高木が密生し、林内に光はあまり差し込まず、林床の植物種も少ない印象である。確認されたコウチュウは 18 科 28 種で、森林限界（St. 1）と同程度に少なかった。他の調査地点との共通種が多く、本調査地点をとりたてて特徴づける種というのは見当たらない。キクイムシ科では亜高山のモミ属 *Abies* 針葉樹を食する種も知られており、採集種の中に含まれていることも十分考えられるが、「確認種」で述べたように分類が困難なグループのため種の確定には至らなかったものも多く、今回は明らかにならなかった。

確認種のうち強いてあげれば、ツノグロモンシデムシ（St. 1、St. 2 と共通）、カタシナナガゴミムシ、マルガタハナカミキリ *Judolia cometes*（St. 2 と共通）は標高の高い山地に生息する種である。ヒゲブトジュウジベニボタル *Lopheros crassipalpis* も亜高山帯を中心に分布する種かもしれない。マルガタハナカミキリはオオシラビソ、シラビソ、カラマツなどを寄主植物（大林ほか編 1992）とする。アカチャキノコハネカクシ *Bolitobius prolongatus*、ヨツボシセマルケシキスイ *Cychramus variegatus* はきのこを餌とする（食菌性）。

St. 4 夏緑広葉樹林（山地帯）

木本、草本ともに植物の種類は豊富である。確認されたコウチュウも 46 科 182 種と、他の調査地点より圧倒的に多かった。同様の環境下である任意調査地点の St. 26 を含めると、さらに確認種は増える。

環境を特徴づける種も多く得られた。主だった種としては、トビイロセスジムシ、ルリクワガタ、オニクワガタ、オオキノコムシ *Encaustes praenobilis*、クシヒゲビロウドムシ、エゾサビカミキリ *Pterolophia tsurugiana*、セダカコブヤハズカミキリなどがあげられる。これらの種の中には、貴重種や珍種とされるものも少なくない。本地域は質的にも高い、本州中部の典型的な夏緑広葉樹林の生物相を呈する場所であると思われる。

St. 5 ヒノキ林（山地帯）

溶岩流の上に形成した森林で、高木はヒノキに代表される。林床に光はあまり届かず薄暗く、草本類も乏しい印象である。確認されたコウチュウは 28 科 63 種であった。ヒノキ針葉樹林を特徴づける種よりも、山地の夏緑広葉樹林の要素と思われる種が多いようである。たとえば、コヒメデオキノコムシ *Scaphidium montivagum*、チャバネケシデオキノコムシ *Scaphisoma indubium*、クシヒゲツツシンクイ *Hylecoetus flabellicornis*、チャボハナカミキリ *Pseudalosterna misella* などがそうである。トウカイヒメハナカミキリ *Pidonia tsuyukii* は、マツシタヒメハナカミキリ *Pidonia matsushitai* の富士山型とされていた種（水野弘造氏私信）で、富士山周辺に分布が限定される。

フジコブヤハズカミキリとウエノモリヒラタゴミムシが、ベイトトラップでそれぞれ 1 個体得られたことは興味深い。

St. 6 アカマツ林（山地帯）

溶岩流の上に形成した森林で、高木はアカマツに代表される。前出の St. 5 の溶岩流と同時代とされるが、植生が異なるのは、St. 5 地点では降水量が多く多湿であること、溶岩の割れ目が多く冷涼な空気が流れ林床が低温であることに対し、本地点は乾燥、酸性立地であるためと説明されている。前者に比べ林内ははるかに明るく、場所によってはミズナラ、カエデ類などの落葉樹も混生

している。

確認されたコウチュウは 28 科 66 種であった。コウチュウ目以外では、マツヒョウタンメクラガメ *Pilophorus miyamotoi* (カメムシ目)、ラクダムシ *Inocellia japonica* (アミメカゲロウ目) など、アカマツ林を特徴づける昆虫がみられたが、コウチュウでは本州 (あるいは中部地域) の山地に一般的にみられる種が多かった。中では、ツツジ類につくツツジトゲムネサルゾウムシ *Mecysmoderes fulvus* が、溶岩上に典型的なヤマツツジ-アカマツ群集の要素といえるかもしれない。

ミヤマナガゴミムシは富士山周辺の特産種である。ハネカクシ科 *Megalopaerus* 属の一種は、代表種はコアリガタハネカクシ *Megalopaerus lewisi* であるが、山梨県東部 (山中湖・大月)・奥多摩を境界に東側には本種が、富士山周辺には外形の酷似したクロサワアリガタハネカクシ *Megalopaerus kurosawai* が分布しているという (柴田・渡辺 1997)。2 種の分布が完全に重ならないのであれば後者となるが、現在までに確認の機会を得ていないため、ここでは留保しておく。

St. 7 草原 (山地帯)

人為的に維持されている草原である。本調査で共通調査地点として設定した植生コードラート内には本木類が欠けるが、近くにはアカマツ高木、カシワ低木がそれぞれ 1 本ある。確認されたコウチュウは 21 科 72 種で、環境を特徴づけるような種も多い。セアカオサムシ *Hemicarabus tuberculosis*、オオヒラタシデムシ *Eusilpha japonica*、サビキコリ *Agrypnus binodulus binodulus*、ホソスナゴミシダマシ *Gonocephalum sexuale* は、平地から低山地の乾燥気味の荒地に典型的な種である。ハムシ科のハギツツハムシ *Pachybrachis eruditus* はハギ類、アオバネサルハムシ *Basilepta fulvipes* はヨモギ類、クロルリトゲハムシ *Rhadinosa nigrocyanea* はススキ類を、それぞれ食草としている。近年、土地利用の変化に伴い二次草原が減少し、草地性の生物が減っているという。ハコネチビツツハムシもその一つで、基準産地である箱根仙石原では最近発見されていない (神奈川県レッドデータ生物調査団編 1995) という。

一方、本地点で興味深いことは、アシミゾナガゴミムシ *Pterostichus sulcitaris* のような湿

原性の種が得られていることである。コウチュウ以外では、同じ草原内の任意調査地点でイナゴモドキ *Parapleurus alliaceus*、ヒメギス *Metrioptera hime* といった、やはり湿性草原を好む種が確認されている。本地域は、霧の多い場所であることが湿原に似た多湿の環境をもたらす、単純な乾燥した草原とは異なる昆虫相を育てているのかもしれない。

草原内の任意調査地点 St. 49 ではコルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis* が確認された。本種は、北米原産の帰化種である (水野弘造氏私信)。近年、関東地方を中心に分布を拡げ、神奈川県、福島県、長野県で記録があるという (笠原・苅部 1997)。また、筆者が 1996 年に群馬県で、1998 年に東京都で、それぞれ見慣れない美しいアトキリゴミムシ類を採集していたものが、今回再検討してどうやら本種で間違いのないようである。家畜飼料の輸入に伴って来たとも考えられていて (笠原・苅部 1997)、本調査では St. 59 (草地) でも得られた。

富士北麓地域におけるコウチュウ保護のために

以上のとおり、本調査では富士北麓地域を特徴づけたり、その価値の証となるような種を見出すことができた。しかし「はじめに」で述べたように、近年、全国各地で行なわれている充実したファウナ調査と比べると十分なものではない。特にハネカクシ科、ゾウムシ科、キクイムシ科などでは、種の確定に至らなかったものも相当数残されている。引き続き標本を整理し、基礎資料としての目録の充実を図る必要がある。また今回は、注目すべき種の抽出のために、近県の「レッドリスト」や資料などの記載を援用せざるをえなかった。条件の異なる富士北麓地域において、そのすべてが同じように「貴重種」に該当するのかわからない。逆に、生態や分布に関する知見が不十分のために、貴重性が評価できない種も少なくない。山梨県では現在「県レッドリスト」を策定中で、地域特性を反映した「貴重種」の抽出がなされることを期待したい。

富士北麓地域のコウチュウ類を保護していくためには、有数の観光地であるこの地域の、人による環境利用のあり方を再検討していくことも不可欠と思われた。

高山・亜高山域では、登山者、山菜やきの採りの利用が多い。現時点ではそれが直接コウチュウ

表1 確認されたコウチュウ目

		調査地点 (St.)						
		1	2	3	4	5	6	7
セシムシ科								
1 トビイロセシムシ	<i>Rhysodes comes</i> (Lewis)							○
ハンショウ科								
2 ミヤマハンショウオサムシ科	<i>Cicindela sachalinensis</i> Morawitz		○					
3 クロカタビオサムシ	<i>Calosoma maximowiczi</i> (Morawitz)							
4 アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i> Chaudoir							○
5 ルイスオサムシ	<i>Carabus lewisianus lewisianus</i> Breuning						○	
6 ヒメマイマイカブリ	<i>Damaster blaptoides oxuroides</i> (Schaum)		○				○	
7 セアカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculosus</i> (Dejean et Biisduval)							○
8 フジクロナカオサムシ	<i>Leptocarabus arboreus fujisanus</i> (Bates)	○	○	○	○			
9 フジホリヒメクロオサムシ	<i>Leptocarabus harmandi fujisan</i> (Ishikawa)							
10 クロナカオサムシ	<i>Leptocarabus procerulus procerulus</i> (Chaudoir)						○	
11 クロキノカワコミムシ	<i>Leistus obtusicollis</i> Bates						○	
12 クロマルクビゴミムシ	<i>Nebria ochotica</i> R. F. Sahlberg							
13 サトマルクビゴミムシ	<i>Nebria sadona</i> Bates							
14 ミヤマメカゴミムシ	<i>Notiophilus impressifrons</i> Morawitz							
15 カロアミスギワコミムシ	<i>Bembidion galloisi</i> Netolitzky						○	○
16 フジナカゴミムシ	<i>Pterostichus fujisanus</i> Tanaka et Suga						○	
17 カタシナナカゴミムシ	<i>Pterostichus katashinensis naganoensis</i> Tanaka						○	
18 ニッコウオオソナカゴミムシ	<i>Pterostichus macrogenys</i> Bates							
19 コカシナナカゴミムシ	<i>Pterostichus microcephalus</i> (Motschulsky)							○
20 ニッコウヒメナカゴミムシ	<i>Pterostichus polygenus</i> Bates							○
21 ミヤマナカゴミムシ	<i>Pterostichus rhanis rhanis</i> (Tschitscherine)						○	○
22 オオキンナカゴミムシ	<i>Pterostichus samurai</i> (Lutshnik)							○
23 マルカタナカゴミムシ	<i>Pterostichus subovatus</i> (Motschulsky)							○
24 アシミソナカゴミムシ	<i>Pterostichus sulcitorsis</i> Morawitz							○
25 タカオヒメナカゴミムシ	<i>Pterostichus takaosanus</i> Habu						○	○
26 ムラサキオオコミムシ	<i>Trigonognatha coreana</i> (Tschitscherine)							
27 アカカネオオコミムシ	<i>Trigonognatha cuprescens</i> Motschulsky	○					○	
28 ウスグロモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes aequatus</i> Jedlicka						○	
29 クロモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes atricomus</i> Bates						○	
30 オオオモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes buchani</i> Hope							
31 ハコネモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes hakonus hakonus</i> Harold						○	
32 ムラサキモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes integratus</i> Bates	○					○	
33 ハアアカモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes japonicus</i> (Motschulsky)							
34 コハラアカモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes lampros</i> Bates							○
35 サトモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes limodromoides</i> Bates						○	
36 ミナミカリモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes minamikawai</i> (Habu)						○	
37 クヒアカモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes rubriolus</i> Bates							
38 ホソモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes speculator</i> Harold							
39 ウエノモリヒラタコミムシ	<i>Colpodes uenoi</i> (Habu)							○
40 ルリヒラタコミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i> Chaudoir						○	
41 セアカヒラタコミムシ	<i>Dolichus halensis</i> (Schaller)							○
42 ホソヒラタコミムシ	<i>Pristosia aeneola</i> (Bates)	○	○	○			○	
43 ニッポノツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus agonus</i> (Tschitscherine)							○
44 コカシラツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus angusticeps</i> Tanaka							
45 クロツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus cycloderus</i> (Bates)							○
46 ヒメツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus dulcigradus</i> (Bates)						○	
47 コクロツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus melantho</i> (Bates)						○	○
48 マルカタツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i> (Motschulsky)						○	
49 ホソツヤヒラタコミムシ	<i>Synuchus atricolor</i> (Bates)						○	
50 コアオマルカタクミムシ	<i>Amara chalcophaea</i> Bates							○
51 ニセマルカタクミムシ	<i>Amara congrua</i> Morawitz							
52 ナカマルカタクミムシ	<i>Amara macronota ovalipennis</i> Jedlicka							○
53 ツヤマルカタクミムシ	<i>Amara obscuripes</i> Bates							○
54 ヒメコミムシ	<i>Anisodactylus tricuspidatus</i> Morawitz							
55 マルカタクモクムシ	<i>Harpalus bungii</i> Chaudoir							○
56 ケウスコモクムシ	<i>Harpalus griseus</i> (Panzer)							
57 ヒメケコモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i> (Jedlicka)						○	
58 ウスアカクロモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i> Hope							
59 コモクムシ	<i>Harpalus tridens</i> Morawitz							○
60 ハネグロツヤコモクムシ	<i>Trichotichnus lucidus</i> (Morawitz)							○
61 チビツヤコモクムシ	<i>Trichotichnus nanus</i> Habu							
62 ウエノツヤコモクムシ	<i>Trichotichnus uenoi</i> Habu							
63 キベリチビコモクムシ	<i>Dicheirotichnus tenuimanus</i> (Bates)							

		調査地点 (St.)						
		1	2	3	4	5	6	7
64	キヘリカキハゴミシ				○			
65	キホシアオミシ							○
66	クロスホナシ							○
67	ホソアトキリコミシ		○	○				
68	フタホシアトキリコミシ				○			
69	ハネビロアトキリコミシ							
70	コルリアトキリコミシ							
71	ヤホシコミシ							
72	ヒラタアトキリコミシ				○			
73	オオヨツアアトキリコミシ							
74	ミツアアトキリコミシ							
	ゲンコロウ科							
75	マメゲンコロウ							
76	ヒメゲンコロウ							
	カムシ科							
77	セマルマクソカムシ							○
78	オオヒラタカムシ							
	エンマムシ科							
79	ヒメホソエンマムシ							○
80	コエンマムシ							○
	タマキノコムシ科							
81	アカタマキノコムシ							
82	ウスイロヒメタマキノコムシ							
83	チャイロヒメタマキノコムシ							○
84	マルムネタマキノコムシ							
85	ハバヒロタマキノコムシ							○
86	オオマルタマキノコムシ							○
87	ツヤマルタマキノコムシ							○
88	オヒシジタマキノコムシ							○
89	セマルタマキノコムシ							○
90	アカハマルタマキノコムシ							○
91	Hydrobius属の一種							
	ヒゲブトチビシテムシ科							
92	ヒゲブトチビシテムシ属の一種							
	チビシテムシ科							
93	タカオニセチビシテムシ							○
94	オオクロチビシテムシ							○
95	ヒレルチビシテムシ							
96	ミヤマチビシテムシ		○	○		○		
	シテムシ科							
97	クロシテムシ							○
98	ヒロホチモンシテムシ							○
99	マエモンシテムシ							○
100	ヨツボシモンシテムシ							○
101	ツノグロモンシテムシ		○	○	○			
102	コクロシテムシ							○
103	オオモブトシテムシ							○
104	ヨツボシヒラタシテムシ							○
105	オオヒラタシテムシ							○
106	クロボシヒラタシテムシ							○
107	ムナグロホソツヤシテムシ							
	ハネカクシ科							
108	ヒラタハネカクシEleusis属の一種							
109	ヒメヒラタハネカクシ							
110	セミツヒラタハネカクシ							
111	チビハバヒロハネカクシ		○	○				
112	チビハバヒロハネカクシ属の一種		○					
113	キヨハナムグリハネカクシ							
114	ルイスハナムグリハネカクシ類似種							
115	ハナムグリハネカクシ属の一種							
116	フタモンヨツメハネカクシ							
117	ヘリトケヨツメハネカクシ							○
118	ヨツメハネカクシ亜科の一種							○
119	セスジハネカクシ亜科の一種							○
120	アシマダラメダカハネカクシ							○
121	オオマルズハネカクシ							○
122	キモンナガハネカクシ		○					

		調査地点 (St.)						
		1	2	3	4	5	6	7
123	アカアシクロトカ ^リ ハネカクシ							
124	ネアカトカ ^リ ハネカクシ						○	
125	コアリカ ^タ ハネカクシ近種							○
126	エゾ ^{アリカ} タハネカクシ							○
127	キハ ^{ネクヒ} ホ ^ソ ハネカクシ							
128	ムネヒ ^ロ ハネカクシ							
129	ツヤケシ ^チ ヒゲ ^ハ ネカクシ					○		
130	カタモン ^チ ヒゲ ^ハ ネカクシ							
131	ハイイロ ^ハ ネカクシ							
132	サヒ ^イ ロモンキ ^ハ ネカクシ					○		
133	クロ ^ハ ネカクシ							○
134	オオサヒ ^イ ロモンキ ^ハ ネカクシ						○	○
135	サヒ ^イ ロモンキ ^ハ ネカクシ属の一種						○	○
136	サヒ ^ハ ネカクシ							○
137	トケ ^ツ モコ ^シ ラ ^ハ ネカクシ		○					
138	アカ ^ハ ネカクシ							○
139	アカアシ ^オ オメ ^ハ ネカクシ							
140	フシ ^ツ ヤム ^ネ ハネカクシ							
141	ツヤム ^ネ ハネカクシ属の一種							
142	アカチャ ^キ ノコ ^ハ ネカクシ					○		
143	シリ ^ホ ハネカクシ亜科の一種							○
144	ダ ^イ ミウ ^キ ノコ ^ハ ネカクシ							○
145	クロ ^モ キ ^ノ コ ^ハ ネカクシ近種							○
146	ハス ^オ キ ^ノ コ ^ハ ネカクシ近種		○					
147	ヤマト ^イ ク ^ヒ ハネカクシ							○
148	ムク ^ゲ ヒメ ^キ ノコ ^ハ ネカクシ							○
149	ヒメ ^キ ノコ ^ハ ネカクシ							○
150	ヒメ ^ク ロ ^キ ノコ ^ハ ネカクシ							○
151	ヤマト ^{マル} ク ^ヒ ハネカクシ							○
152	キ ^ハ リ ^マ ク ^ヒ ハネカクシ							○
153	ヒゲ ^フ ト ^{マル} ク ^ヒ ハネカクシ							○
154	ナカ ^ア カ ^ヒ ゲ ^フ ト ^ハ ネカクシ							○
155	ス ^グ ロ ^ア カ ^チ ヒ ^ハ ネカクシ							○
156	ヒゲ ^フ ト ^ハ ネカクシ亜科の一種1		○					
157	ヒゲ ^フ ト ^ハ ネカクシ亜科の一種2							○
158	ヒゲ ^フ ト ^ハ ネカクシ亜科の一種3							○
159	フタ ^{モン} ヒゲ ^フ ト ^ハ ネカクシ類似種							○
160	ハケ ^グ アリ ^ノ ス ^ハ ネカクシ類似種 コケムシ科		○					
161	ムナ ^ヒ ロ ^コ ケムシ テ ^オ キ ^ノ コムシ科							
162	アカアシ ^ス シ ^テ オ ^キ ノコムシ							○
163	ヒメ ^テ オ ^キ ノコムシ							○
164	ヒメ ^ク ロ ^テ オ ^キ ノコムシ							○
165	コ ^ヒ メ ^テ オ ^キ ノコムシ							○
166	カ ^メ ノコ ^テ オ ^キ ノコムシ							○
167	マ ^メ テ ^オ キ ^ノ コムシ							○
168	ニセ ^ツ マ ^キ ケ ^シ テ ^オ キ ^ノ コムシ							○
168	チャ ^ハ ネ ^ケ シ ^テ オ ^キ ノコムシ マルハナミ科							○
170	イシ ^{ハラ} チ ^ヒ マル ^ハ ナ ^ミ クシ ^ヒ ゲ ^ム シ科							○
171	クチ ^ク シ ^ン ヒゲ ^ム シ クワ ^カ タムシ科							○
172	ミヤ ^マ ク ^ワ カ ^タ							○
173	コ ^ク ワ ^カ タ							○
174	ス ^シ ク ^ワ カ ^タ							○
175	ヒメ ^オ オ ^ク ワ ^カ タ							○
176	コ ^ル ク ^ワ カ ^タ							○
177	ル ^リ ク ^ワ カ ^タ							○
178	ホ ^ソ ツ ^ヤ ル ^ク ワ ^カ タ							○
179	オ ^コ ク ^ワ カ ^タ セン ^チ コ ^カ ネ科							○
180	セン ^チ コ ^カ ネ コ ^カ ネムシ科							○
181	マ ^メ タ ^グ ル ^マ コ ^カ ネ							○
182	マ ^エ カ ^ト コ ^エ ン ^コ カ ^ネ							○
	<i>Medon discedens</i> Sharp							
	<i>Medon lewisius</i> (Sharp)						○	
	<i>Megalopaederus</i> sp.							○
	<i>Paederus parallelus</i> Weise							○
	<i>Rugilus ceylanensis</i> (Kraatz)							
	<i>Algon grandicollis</i> Sharp							
	<i>Anisolinus elegans</i> Sharp					○		
	<i>Anisolinus picticornis</i> Sharp							
	<i>Eucibdelus japonicus</i> Sharp							
	<i>Ocypus dorsalis</i> Sharp					○		
	<i>Ocypus rambouseki nigroaeneus</i> Sharp							○
	<i>Ocypus scutigera</i> Sharp						○	○
	<i>Ocypus yuinus</i> Naomi						○	○
	<i>Ontholestes gracilis</i> (Sharp)							○
	<i>Philonthus nakanei</i> Sawada		○					
	<i>Platydracus paganus</i> (Sharp)							○
	<i>Quedius praeditus</i> Sharp							
	<i>Quedius sugai</i> S. Ueno et Watanabe							
	<i>Quedius</i> sp. 1							
	<i>Bolitobius prolongatus</i> (Sharp)						○	
	<i>Ischnosoma</i> sp. 1							○
	<i>Lordithon daimo</i> (Sharp)							○
	<i>Lordithon</i> sp. (nr. <i>semirufus</i>)							○
	<i>Lordithon</i> sp. 1		○					
	<i>Mycetoporus discoidalis</i> Sharp							○
	<i>Sepedophilus germanus</i> (Sharp)							○
	<i>Sepedophilus tibialis</i> (Sharp)							○
	<i>Sepedophilus varicornis</i> (Sharp)							○
	<i>Tachinus japonicus</i> Sharp							○
	<i>Tachinus mimulus</i> Sharp							○
	<i>Tachinus nakanei</i> Ullrich							○
	<i>Aleochara curtula</i> Goeze							○
	<i>Atheta weisei</i> Bernhauer							○
	Aleocharinae Gen. sp. 1							○
	Aleocharinae Gen. sp. 2							○
	Aleocharinae Gen. sp. 3							○
	Aleocharinae Gen. sp. 4							○
	Aleocharinae Gen. sp. 5							○
	<i>Cephennium japonicum</i> Sharp							
	<i>Ascaphium sulcipenne</i> Lewis							○
	<i>Scaphidium femorale</i> Lewis							○
	<i>Scaphidium incisum</i> Lewis							○
	<i>Scaphidium montivagum</i> Shirozu et Morimoto							○
	<i>Cyparium mikado</i> Achard							○
	<i>Eubaecocera curtula</i> (Achard)							○
	<i>Scaphisoma austerum</i> Lobl							○
	<i>Scaphisoma indubium</i> Lobl							○
	<i>Cyphon ishiharai</i> K. Sasagawa							○
	<i>Sandalus segnis</i> Lewis							○
	<i>Lucanus maculifemoratus</i> Motschulsky							○
	<i>Macrodercas rectus rectus</i> (Motschulsky)							○
	<i>Macrodercas striatipennis</i> Motschulsky							○
	<i>Nipponodorcus montivagus montivagus</i> (Lewis)							○
	<i>Platycerus acuticollis acuticollis</i> Y. Kurosawa							○
	<i>Platycerus delicatulus delicatulus</i> Lewis							○
	<i>Platycerus kawadai</i> Fujita et Ichikawa							○
	<i>Prismognathus angularis angularis</i> Waterhouse							○
	<i>Geotrupes laevistriatus</i> Motschulsky							○
	<i>Panelus parvulus</i> (Waterhouse)							○
	<i>Caccobius jessoensis</i> Harold							○

245 フトヒゲ コメツキダ マシ	<i>Fryanus japonicus</i> Hisamatsu						○
246 オニコメツキダ マシ	<i>Hylochaeres harmandi</i> Fleutiaux						○
247 ヒメコメツキダ マシ	<i>Hypocoelus japonicus</i> Fleutiaux						
248 ホリナカ コメツキダ マシ	<i>Isorhipis foveata</i> Hisamatsu					○	○
249 アイヌツヤヒメコメツキダ マシ	<i>Xylobius ainu</i> Fleutiaux						○
250 ツヤヒメコメツキダ マシ	<i>Xylobius rufomarginatus</i> Fleutiaux						○
251 コヒメソ コメツキダ マシ	<i>Dromaeolus brevipes</i> Fleutiaux						○
252 オオチャイロコメツキダ マシ	<i>Fornax victor</i> Fleutiaux						
253 マメフチトリコメツキダ マシ	<i>Clypeorhagus marginatus</i> (Fleutiaux)						○
254 トゲナカミソ コメツキダ マシ	<i>Rhacopus modestus</i> (Fleutiaux)						
ベニホタル科							
255 ミスジ ヒシヘニホタル	<i>Benibotarus spinicoxis</i> (Kiesenwetter)						
256 マエアカクロニホタル	<i>Cautires zahrndniki zahrndniki</i> (Winkler)						
257 カタアカハナホタル	<i>Conderis rufohumeralis</i> Nakane						○
258 ヒシヘニホタル	<i>Dictyoptera gorhami</i> (Kono)						○
259 メダカヒシヘニホタル	<i>Dictyoptera oculata</i> (Gorham)						○
260 アカスジヒシヘニホタル	<i>Dictyoptera velata</i> (Gorham)						○
261 ヒゲブトシユウシヘニホタル	<i>Lopheros crassipalpis</i> Nakane						○
262 コウノシユウシヘニホタル	<i>Lopheros konoii</i> Nakane						○
263 フトヘニホタル	<i>Lycostomus semiellipticus</i> Reitter						
264 ヒメカクムネニホタル	<i>Lyponia osawai</i> Nakane						○
265 カクムネニホタル	<i>Lyponia quadricollis</i> (Kiesenwetter)						○
266 クシヒゲヘニホタル	<i>Macrolycus flabellatus</i> (Motschulsky)						○
267 ホソヘニホタル	<i>Mesolycus atrorufus</i> (Kiesenwetter)						○
268 ムネクロテンケヘニホタル	<i>Platycis consobrinus</i> Bourgeois						○
269 ヤマトアミホタル	<i>Xylobanus japonicus</i> Bourgeois						○
ホタル科							
270 カタモンナミホタル	<i>Drilaster axillaris</i> Kiesenwetter						○
271 オハニホタル	<i>Lucidina biplagiata</i> (Motschulsky)						○
272 オオマトホタル	<i>Lychnuris discicollis</i> (Kiesenwetter)						○
ホタルモトキ科							
273 ホソホタルモトキ	<i>Drilonius striatulus</i> Kiesenwetter						○
シヨウカイホソ科							
274 ウスチヤシヨウカイ	<i>Athemellus insulsus</i> (Harold)						○
275 クロシヨウカイ	<i>Athemus attristatus attristatus</i> (Kiesenwetter)						
276 ニセヒメシヨウカイ	<i>Athemus lineatipennis</i> Wittmer						
277 ヒメシヨウカイ	<i>Mikadocantharis japonica</i> (Kiesenwetter)						
278 ミヤマクヒホソシヨウカイ	<i>Podabrus lictorius</i> Lewis						
279 ウスイロクヒホソシヨウカイ	<i>Podabrus temporalis</i> Harold						
280 クヒホソシヨウカイ属の一種	<i>Podabrus</i> sp. 1						○
281 マルムネシヨウカイ	<i>Prothemus ciusianus</i> (Kiesenwetter)						○
282 クリイロシヨウカイ	<i>Stenothemus badius</i> (Kiesenwetter)						○
283 ウスハツマキシヨウカイ	<i>Malthinus nakanei</i> Wittmer						
284 ムネミソクロチヒシヨウカイ	<i>Malthodes sulcicollis</i> Kiesenwetter						
コクヌスト科							
285 セダカコクヌスト	<i>Thymalus parviceps</i> Lewis						
カッコウムシ科							
286 キオヒナカカッコウムシ	<i>Opilo carinatus</i> Lewis						
287 クロダントフカッコウムシ	<i>Stigmatium nakanei</i> Iga						
シヨウカイモトキ科							
288 ケシヨウカイモトキ	<i>Dasytes vulgaris</i> Nakane						○
ツツシクイ科							
289 ツマクロツツシクイ	<i>Hylecoetus dermestoides cossis</i> Lewis						○
290 クシヒゲツツシクイ	<i>Hylecoetus flabellicornis</i> (Schneider)						○
ケンキスイ科							
291 キイロチヒハナケンキスイ	<i>Heterhelus japonicus</i> (Reitter)						
292 クロチヒハナケンキスイ	<i>Heterhelus morio</i> (Reitter)						
293 クロハナケンキスイ	<i>Carpophilus chalybeus</i> Murray						○
294 ハラク ロテ オキスイ	<i>Carpophilus sibiricus</i> Reitter						
295 キイロセマルケンキスイ	<i>Cychramus dorsalis</i> Reitter						○
296 モンキイロセマルケンキスイ	<i>Cychramus plagiatus</i> Reitter						
297 ヨツボシセマルケンキスイ	<i>Cychramus variegatus</i> (Herbst)						○
298 クロハリヒラタケンキスイ	<i>Epuraea adumbrata</i> Mannerheim						○
299 セコフヒラタケンキスイ	<i>Epuraea alpicola</i> Nakane						○
300 カクアシヒラタケンキスイ	<i>Epuraea bergeri</i> Sjoberg						○
301 ハリアカヒラタケンキスイ	<i>Epuraea hisamatsui</i> Nakane						○
302 ウスモンアカヒラタケンキスイ	<i>Epuraea kyushuensis</i> Sjoberg						○